

# こころみ



2009. 3.

担当 研究主任

全国学力・学習状況調査結果を踏まえた

## 各校の学習指導の取り組み



平成20年度研究主任協議会冬季研修会（小学校）から

国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の力をつける工夫（詩の暗唱・国語コーナーの充実）</li> <li>・類似点、相違点を考えながら話を聞く</li> <li>・次の学習へとつなげる学習コーナーの充実と活用</li> <li>・朝の会のスピーチの充実</li> <li>・話型の指導やハンドサインの充実</li> <li>・辞典活用の日常化</li> <li>・事実・感想・意見を区別して書いたり話したりする活動の充実</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自力解決をもとに全体の場で解決する時間の設定</li> <li>・根拠を明確にして考えを述べる事の習慣化、理解を深めることの充実</li> <li>・ノートを活用し、考えを書くことを繰り返し取り入れる指導の充実</li> <li>・式の意味を話したり書いたりする活動の充実</li> <li>・操作活動や体験活動の充実</li> <li>・県の単元テストの活用（評価としての活用・補充発展問題としての活用）</li> <li>・「本時のねらい」の焦点化と練り合い、学び合いの設定の明確化</li> </ul>

### 成果と課題

- サイドラインやアンダーラインの活用が、言葉に着目し丁寧に文章を読むことにつながった。演算決定や視点を意識した情報のとらえにもつながった。
- 自分の考えを書く、まとめる、意見を交流するという場を設定することで考えの明確化、友達の考えの良さの発見へとつながった。
- 話型やキーワードの掲示、学習コーナーの充実により、解決の手がかりを見つけ、意欲的に話そうとする児童が増えた。
- △低学年から、考えをまとめる・話す・友達と比べるという活動を充実させたい。
- △授業のまとめ方や振り返りを児童の言葉で書き、記述に慣れることを目指したい
- △取り組みやすい学年毎のスキルで、コミュニケーションを活発にしたい。

全国学力・学習状況調査の結果から児童につけたい力とは

国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短時間で文章を読み、内容を理解する力</li> <li>・場に応じて適切な言葉を選び、活用できる力</li> <li>・情報をとらえ、自分の意見をもって書くことができる力</li> <li>・自分の考えを明確に話したり書いたりできる力</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えの根拠をわかりやすく伝える力</li> <li>・情報を整理選択し、筋道を立てて考え、条件に合った説明をする力</li> <li>・既習事項を適切に活用し、解決する力</li> <li>・資料から適切に情報を読み取る力</li> </ul>

共通課題として各校から出されたことは **言語活動を充実させて**  
**伝え合う力・表現力を育成すること** でした。

この課題を改善するためにどうするか、あなたの学校では明確になっていますか

# 中学校における言語活動の充実

## 各教科の言語活動にかかわる改善事項

～新学習指導要領の改訂のポイント～

国語	○社会生活に必要とされる発表、案内、報告、編集、鑑賞、批評などの言語活動を具体的に例示。
社会	○社会的事象の意味、意義を解釈する学習や、事象の特色や事象間の関連を説明する学習などの重視。 ・地図や資料の読み取り、解釈、論述、意見交換などの学習活動の重視。
数学	○言葉や数、式、図、表、グラフを使って論理的に考え、根拠を明らかにして筋道を立てて説明し、互いに自分の考えを伝え合う活動の充実。 ○課題学習を数学的活動が実現される場面と位置付け、既習事項を総合して問題を解決する学習に取り組むこと。 ○基礎的・基本的な知識・技能を習得し、活用する授業の重視。
理科	○科学的な知識・技能の確実な定着と科学的な思考力・表現力の育成を図るため、問題解決の過程を大切に、問題解決の能力を育成すること。 ○観察、実験を探究的に進め、その結果を適切に記録できるような指導。 ○観察、実験の結果の数値を処理したり、グラフ化したりする過程の重視。 ○予想や仮説と関連付けながらグラフやモデルなどを活用して、知識や概念を用いて合理的に判断し、説明するなどの学習活動を通して、考察が充実し、深まっていくような指導。
音楽	○鑑賞において、言葉で説明する、根拠をもって批評するなどの活動。 ・楽曲や演奏の楽しさに気が付いたり、楽曲の特徴や演奏のよさに気が付いたり、理解したりする能力が高まるように改善を図ること。
美術	○鑑賞の活動を推進していく手立ての一つとして言語活動の充実を図ること。 ・「作品などに対する思いや考えを説明し合うこと」を新設。(第1学年)
技術・家庭	○衣食住などに関する実習等の結果を整理し、考察する学習活動の充実。 ○生活における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の充実。
保健体育	○グループ、ペアなどでのかかわり合い、課題の設定や振り返り、まとめる、作戦をたてる、話し合うなど、伝え合ったり、表現し合ったりする活動を意図的に行い、言語活動を充実させること。
英語	○言語活動の充実を通じて言語材料の定着を図るとともに、コミュニケーション能力の一層の育成を目指すこと。 ・語彙や文構造を定着させ、活用できるようにするために必要な指導の改善を図ること。 ○「聞くこと」や「読むこと」を通じて得た知識等について、自らの体験や考えなどと結び付けながら活用し、「話すこと」や「書くこと」を通じて発信することが可能となるよう、4技能を総合的に育成する指導を充実すること。

参考資料：  
岐阜県総合教育センター  
「新中学校学習指導要領 実施の手引き」

# 言語活動を取り入れた各教科の実践例

## 【国語科の実践例】

### 〈言語活動例〉

説明文や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べること。  
[中学校学習指導要領解説 P57]

学年：中2

単元名：事実と意見「モアイは語る」「ガイアの知性」

単元の指導計画（10時間扱い）

・第1時～第7時

説明文を読み、筆者の主張や表現の工夫について読み取る。

・第8時～第10時

人間の活動や自然保護についての自分の考えを、既習の学習や様々な情報を生かしながら、**根拠を明確にしてまとめる。**

### 〈生徒の変容〉

文章構成の工夫を学ぶことで、資料の記述内容や生経験などを生かし、**根拠をもとにして意見文をまとめる力が高まった。**

例) 短時間でのまとめ、キーワードを生かした効果的な表現 など

## 【社会科の実践例】

学年：中3 単元名：地球社会とわたしたち

学習活動	指導上の留意点
<b>課題</b> 石油が有限エネルギーであることに対して、わたしたちはどう対処すればいいのか。	
1 課題についてグループで話し合う。	・ <b>根拠となる資料にもとづいて対処法を考えさせる。</b>
グループで一番よいと思われる対処法を決める。	
2 各グループで話し合われた対処法を発表する。	・他のグループへの <b>質問や疑問、賛成・反対の意見を出させる。</b>
3 グループごとに対処法のランク付けをする。	・発表する時には、 <b>ランク付けした理由を説明させる。</b>
4 個人の考えをワークシートにまとめる。	・代表生徒の意見を発表させる。

### 〈生徒の変容〉

「一つの内容について具体的に書くこと」「結論を最初に述べること」「資料をもとに、2つ以上の根拠を挙げること」など、細かい条件を示した。**焦点化を図ることで、具体的・論理的に表現しようとする生徒の姿が見られた。**

### 〈言語力とは？〉

- ・論理・思考を深めたり、広げたりする力
- ・自己の論理や思考の変容を自身で対象化し評価する力
- ・コミュニケーションを通じての人間関係形成力

### 〈基本的な4つの言語活動〉

- ①気付く・取り出す : 質問・記録・描写 など
- ②組み立てる・判断する : 分析・評価・比較検討 など
- ③伝える・表現する : 説明・提言・説得 など
- ④まとめる・思考する : 論述・討論 など

言語活動のゴールは、「思考力・判断力・表現力」「活用する力」の育成!

参考資料：山梨県総合教育センター

「各教科・領域を通じた言語力の向上に関する研究」